



あじけんの裏庭の桜の木にも綺麗な花が咲きました。
品種：神代曙桜
4月2日撮影

あじけん通信

2014 APRIL
VOL.76

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

4月に入りました。長く寒かった冬が終わり、ようやく、待ちに待った春の到来です！春と言えば、日本では新たなことの始まりの季節。母国の発展に寄与すべく、日本で技能実生としての新生活をスタートさせようとしている皆さんに、ぴったりの季節といえるのではないのでしょうか。この時期の実習生の皆さんが、とてもはつらつとして見えるのもそのせいかもしれません。そんな実習生の皆さんに負けぬよう、本校日本語講師・スタッフ一同、新年度のスタート！という思いで、実習生の皆さんの日本語学習をサポートしていきたいと思っております

あじけんスコープ Vol.21 ～サクラ並木計画進行中！



皆さん、左上の写真に見覚えはないでしょうか？この写真は昨年「あじけん通信 4月号」でお知らせした実習生の皆さんによる「桜の木の植樹会」の写真です。あの時の桜の木に今年は綺麗な花が咲きました！まだ幹も細く、枝も小ぶりですが、着実に成長している「あじけん桜」。

桜の木の下で、実習生の皆さんが仲良くお花見を楽しむという私たちの願いが叶うのもそう遠くないかもしれません。

今月の実習生(番外編)

祝合格！昨年に引き続き、今年も本校の介護福祉士の国家試験受験対策講座の受講生が国家試験に合格しました！見事合格の栄冠を勝ち取ったフィリピン人介護福祉士の Jaymie Lamos (ジェイミー・ラモス) さんの喜びの声をお届けいたします。

介護福祉士の試験に合格して、本当に嬉しいです。きぼう国際外語学院で学んだことは、すごく国家試験に役にたちました。私が合格できたのは、きぼうの先生たちのおかげです。私の一番お勧めする勉強方法があります。それは納得するまで質問すること。そして、重要なことを暗記する時は、自分の一番理解しやすい例えを作って覚えることです。そうすると一度覚えたことが忘れにくくなりますよ。

なお、本校では介護福祉士の国家試験対策講座に加え、平成24年度から文化庁の委託事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業にも取り組んでおり、今年度で3年連続の採択となりました。今後とも技能実習生への実践的な日本語教育を柱としながら、多方面で日本語教育に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご支援・ご協力よろしくお願ひいたします。



あじけん流日本語授業

～日本語講師研修～



テーマ別分科会の様子

今月のあじけん流日本語授業は、先日行なわれた日本語講師研修会の様子をお届けします。本校では、日本語講師の指導技術の向上のため、また、日本語指導の現状や問題点について共通理解を図るために、年に2回、研修会を行なっています。財団法人国際研修開発機構（JITCO）が行なっている日本語指導セミナーにも定期的に参加し、技能実習生のための最新の日本語指導法についての知識・技術の習得にも取り組んでいます。去る3月4日JITCOの東京本部で行なわれた講習会には、本校から林先生が参加しました。

そこで、今回の研修会は、林先生によるJITCOの日本語指導セミナーの報告会と、「きぼう日本語講習カリキュラム」の初日と最終日に実施している会話テストの評価基準の再検討が行なわれました。

評価基準の見直しに関しては、本校が、技能実習を安全かつ円滑に行なうために、実習生の皆さんに最低限に身に付けてもらいたいと考えている「Dレベル」の評価基準について特に論議され、新たに①「これ、運べる?」「この箱、持てる?」等のいわゆる「可能形」での問い掛けが理解出来る ②「危ない」「どけ!」等の実習現場での危険を知らせる表現が理解出来る、の2項目を加えることになりました。また、実習現場において、上司や同僚からの指示・問い掛けが良く理解できなかった時に「～って何ですか?」「ここでいいですか?」等の表現を用いて、相手との情報のやり取りをよりスムーズかつ正確に行なうためのコミュニケーションストラテジーが身に付いていることもDレベルの日本語会話力の条件として加えられました。

今回の改訂により、Dレベルの基準がよりハイレベルなものとなりましたが、これまで同様、「全ての実習生がDレベル以上の会話力を身に付ける」ことを目標に、日本語会話力の向上に取り組んでいきたいと考えております。今後とも、本校の日本語指導に対するご理解・ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この評価基準は4月の講習受講生から採用していくことになっております。

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバー
もご覧になれます

